

温室効果ガス排出量・吸収量算定における主要な検討課題

平成21年度の各WG・分科会における主要な検討課題は以下のとおり。

WG・分科会	主要な検討課題	対応方針（案）
インベントリ WG	<ul style="list-style-type: none"> インベントリ確定値・速報値の公表早期化に関する継続検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 確定値・速報値それぞれの早期化に係る統計について、統計所管省庁と今後の早期化方針について検討を行う。
	<ul style="list-style-type: none"> 石炭製品製造部門の炭素収支の検証・改善。 	<ul style="list-style-type: none"> 石炭製品製造部門の炭素収支を検証し、総合エネルギー統計のさらなる精度向上に向けた検討を継続する。
	<ul style="list-style-type: none"> QA/QC（品質保証／品質管理）の改善に関する継続検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度に策定した「QA/QC計画」に従ってQAを実施した後、QA/QCのプロセスの改善点について検討し、必要に応じ「QA/QC計画」の見直しを行う。
エネルギー・ 工業プロセス 分科会	<ul style="list-style-type: none"> 総合エネルギー統計における最終エネルギー消費部門の計上方法の改善。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合エネルギー統計の改訂作業の進捗状況を確認し、どの時点で変更を行うことがインベントリ上最も適切であるかを考慮しつつ、資源エネルギー庁と連携し、今後の方針について検討を行う。
	<ul style="list-style-type: none"> 石灰石及びドロマイトの使用に伴うCO₂排出量に用いている活動量の精査。 	<ul style="list-style-type: none"> 経済産業省及び石灰石の使用に関わる業界団体に協力を依頼し、石灰石の使用用途の精査を行う。
	<ul style="list-style-type: none"> カルシウムカーバイド製造に伴うCO₂排出係数の設定の検討。 	<ul style="list-style-type: none"> カルシウムカーバイド製造事業者に協力を依頼し、我が国独自の排出係数を設定することが可能か検討する。

WG・分科会	主 要 な 検 討 課 題	対 応 方 針 (案)
運輸分科会	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 自動車及び二輪車のCH₄及びN₂O排出係数データの充実。 ▪ 尿素SCR車の排出係数データの蓄積。 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 排出ガス規制年別のCH₄及びN₂O排出係数データ(尿素SCR車を含む)を収集し、そのデータを基にCH₄及びN₂O排出係数の検討を行う。
農業分科会	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 排せつ物管理区分使用割合の更新。 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 畜産関係団体による調査結果が利用できるか検討を行う。
	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 家畜排せつ物の管理に伴う排出係数の更新。 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 平成20年度に開発が行われた排出係数(豚のふんの強制発酵)の反映について検討を行う。
	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 水田の有機物管理方法割合の更新。 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 農林水産省がとりまとめた2008年度の有機物管理方法割合を反映する。
	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 合成肥料、有機質肥料の施肥における茶のN₂O排出係数の改善。 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 茶の研究を行っている研究所などと協力し、残渣中の窒素量の解明と合わせ、新たな排出係数の設定について検討を行う。
HFC等3ガス分科会	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 把握・推計されていない「冷媒、発泡剤等以外での代替フロン使用」「その他用途のPFC」の実態把握について継続検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 実態把握に向けて引き続き検討する。
	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 京都議定書基準年以前の未推計年の排出量の試算可能性の検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 1990～1994年の排出量が未推計となっているため、対応可能性について引き続き検討を行う。

WG・分科会	主要な検討課題	対応方針（案）
廃棄物分科会	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物最終処分場における準好気性埋立構造の反映。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在実施中の埋立構造の調査結果に基づき、準好気性埋立と嫌気性埋立に分けて好気分解補正係数を適用する。
	<ul style="list-style-type: none"> 動植物性廃油の活動量からの控除。 	<ul style="list-style-type: none"> 都道府県調査結果をもとに処理フローごとの動植物性廃油割合を設定し、活動量から控除する。
	<ul style="list-style-type: none"> 排水処理施設ごとの排出係数の更新。 	<ul style="list-style-type: none"> 排出係数の調査を行い、施設の性能向上等によるCH₄及びN₂O排出係数の変化を反映させる。
	<ul style="list-style-type: none"> 焼却に伴うCH₄及びN₂O排出係数の更新。 	<ul style="list-style-type: none"> 排出係数の調査を行い、ダイオキシン類対策等に伴う高性能化によるCH₄及びN₂O排出係数の変化を反映させる。
森林等の吸収源分科会	<ul style="list-style-type: none"> 土壌炭素ストック量及び土壌炭素ストック変化量に関する算定方法の改善。 	<ul style="list-style-type: none"> 農地、草地などの土壌炭素ストック量データの改善の他、土地転用に伴う管理効果の変化の反映について検討を行う。
	<ul style="list-style-type: none"> 「牧草地及び採草放牧地以外の草生地」に関する算定方法の改善。 	<ul style="list-style-type: none"> 「牧草地及び採草放牧地以外の草生地」について実態に即したデータ・情報が入手でき次第、算定方法の改善を行う。
	<ul style="list-style-type: none"> 無視できない程度のバイオマスが含まれる可能性がある「その他の土地」（防衛施設用地など）に関する算定方法の改善。 	<ul style="list-style-type: none"> 「その他の土地」（防衛施設用地など）について継続的に情報（バイオマスデータ、管理方法、諸外国における取扱い等）の収集を行い、必要に応じて算定方法の改善を行う。
	<ul style="list-style-type: none"> 未把握となっている「その他の土地」の実態把握及びバイオマスの有無に関する検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 未把握となっている「その他の土地」の実態をヒアリング等により把握し、バイオマスの有無について検討を行う。また、「その他の土地」の面積は国土総面積と他の5つの土地利用区分の面積との差分より求めていることから、これらの面積データの精度改善も併せて行う。